

那須かるた



那須町デマンド型乗り合い交通は

齋藤剛郎 議員

利便性の高いデマンド交通を判断する

問 平成26年2月25日現在、597名の登録者と月平均306名の利用結果を踏まえ、

那須町デマンド型乗り合い交通について町の考えは、

企画財政課長 北部運行区域の利用は順調に推移しているが、南部運行区域については利用促進を図りたい。

問 利用者の声や反響を踏まえた対応や対策は、

町長 車中のアンケート調査等、色々な形で利用者の声に耳を傾け、改善にあたって努力していく。

問 高齢者はもちろん、障がい者や運転が出来なくなつた方などの弱者の立

場に立ち、他人事ではなく自分事として考えるべきだが、町の考えは、

町長 総合的な判断の中で、自分が使いたいような制度を導入し、利便性の高い那須町デマンド型乗り合い交通を判断していきたい。

郷土愛を育てる那須かるたは

様々な活用を検討する

問 群馬県には上毛かるたがあり競技大会も開催されている。群馬県民の方々は上毛かるたを通じて、郷土のことを多く暗記し、郷土愛が育まれている。那須町にも那須高校生が作成した那須かるたがあるが、郷土愛を育むために活用できないか。

生涯学習課長 郷土愛を育む観点から、保育園や小学校の授業、子ども会の活動等に那須かるたを取り入れるような啓発活動に力を入れていきたい。

問 全日本那須かるた大会等を開催することで観光振興にも一役買うと思うが、考えは、

観光商工課長 観光協会、商工会が力を入れた那須かるたなので検討したい。

副町長 ねんりんピックの百人一首全国大会が那須で開催されるので、前座で那須かるたをやるなど、連携がとれないか打診をする。

那須高校生の作成した那須かるた